守武千句 全

W 皇
911.31
A
0

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

~~60765~~
60765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

911.31
A
名古屋大學圖書印
名古屋大學圖書 和 60765

誹諧之連歌獨吟千句

第一

守武

飛梅やかろ〳〵しくも神の春
われも〳〵とからすうくひす
長閑なる風ゆるかたに山見えて
めもとすさまし月のかけ
あさかほの花のさけやさかえ
こしをれてふかれ松の露けさ
村雨は袖ふつかけて鹿乃角
こつかしと夕くれのそら
ろふやんふミつかさるあとにして

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

[illegible]

きさらぎ　[illegible]

ひやうしいさらんとしたる

猶何　廿二

[illegible]

こゝろのとけ[illegible]

[illegible]

みそのゝ[illegible]

大なる[illegible]

こゝろ[illegible]

いるし[illegible]

引[illegible]

[illegible]入の[illegible]の花落

[illegible]

月[illegible]

なり[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

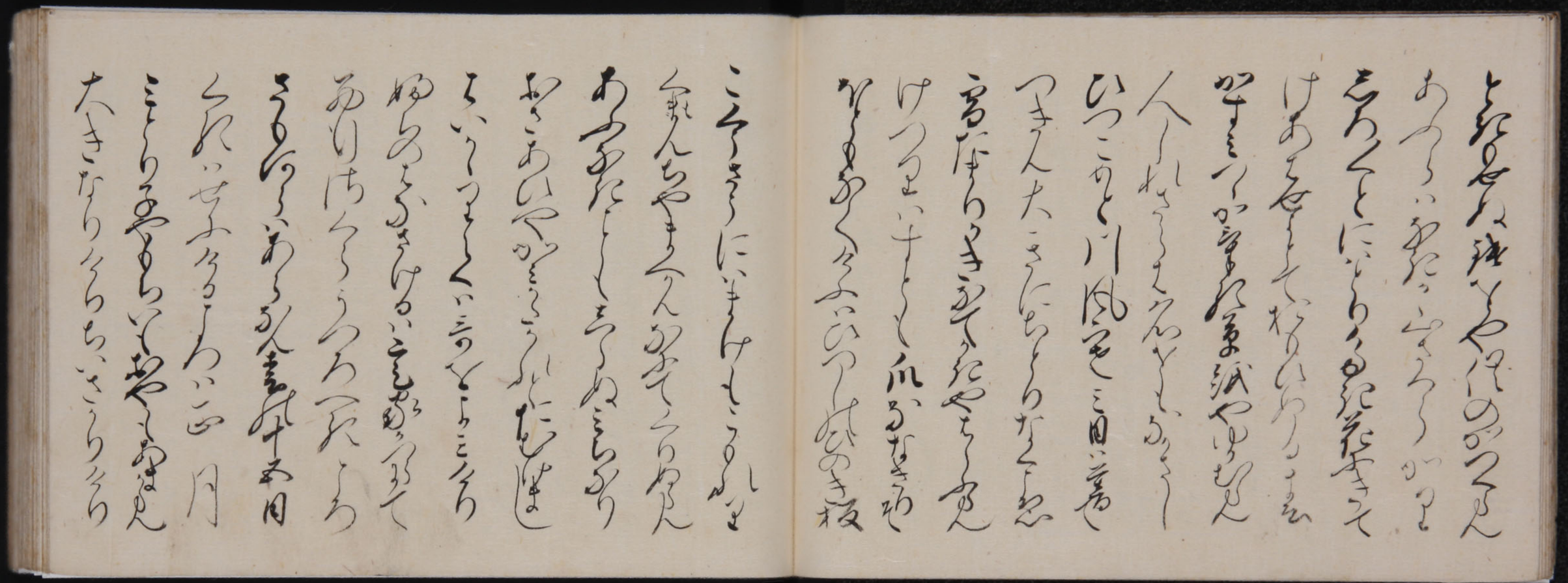
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

世ゝまでかゝるうめうちん
ゆゑもあるなる秋の夜の
三の月をうゝしもわくるゆく
ひしやくんたらい嵐めきふ
花ぬきのゝ[illegible]
とゝつゝたちいかなるあけ
やうゝあるまきくらるき
ひとたるかの奇もも
宿やさしうゝ中はさ
ゝつまりなまくのもわを
花おなじ月と春とおなじく

子きのうちいさけのうひを
つゝをもかゝむのもをく
二月のうゝくゝ[illegible]
ひとをゝまゝ[illegible]
ゝれゝ[illegible]

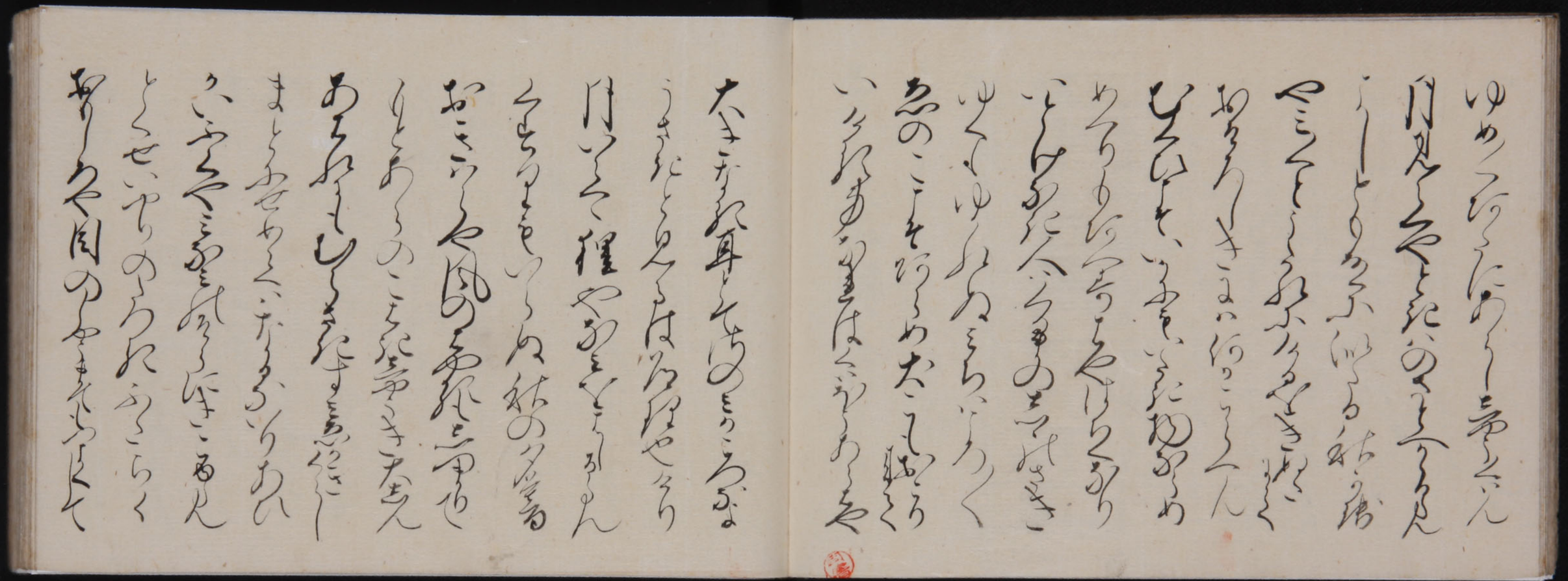
何毛 才三

花ゝも梟よりかゝるあれ
月ゝおゝかゝ[illegible]
[illegible]
けさのあさ[illegible]
ゝゝ[illegible]

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

あるのくらいはきこのさたり
こうもあるとはしかしまてきた
おかふくろもあるは秋風乃ふ
月の和ふくうふ世もいき
うこのあくらそうさまもち
人のくちはてきあいかるる
おくつくふくはのかけあてて

炉何 十三

雪見しもとめうなくわかきた
じゃくのそるあるそうきふる
心さくのちのさいくあるん

なやこんこやああいさるへき
張ふるそはふせんこ十二三
あひしやえのふてしれ
ちんやにはそふしあるしんて
うつつさうふたさるとそ釜
花のまき紀寄れ秋のあ
ふるもしのやすうえうう
おさきなかてそてくん
まつくせやうくや
ふかえてえこなるひる
ウミナらかそもちさうう

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

ろしきハさんてくるにはあまて
なをは何ともゆるさるゝ仏
秋風や只入相と聞ゆらん
こよひの月ハくるゝさきもなし
りんたうふをすゝきけはうき夜
めくるそらてむこよのたかき
ひ弟とくひまに池道足
けさあさりしひゆらかなし
きのふやいろはもちえくなる
ちりぬるをまつのつさあけ嵐
高ふくちとりハこゑもきこえて

行もまたさしあひあなき門
ことのたに仏ひとつハありもなし
のきはなも人とあるし人
さとうてとこせのまとら文の
おわりしも関りかさねむかし
そこもハうつあらて志由嘉里
いかむかうたかうとのかことや
あらくと風もふきて松けよ
ちやいひかれもよ法花経
高砂の娘のおとこ宿かまそ
むらしいまうも志つくならなり

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

かしもとしらく柱もん成なに
あまよ花かさてはうくあらそ
とゝすれ大く つくとゝもらかて
あかさこみ吹るまらいたら
あらそのゑへ河つゆへいて こゝちした
ひとあをうつくしるの家から
松風はさみのおとまやいゆ家て
かもらおそゝやつらゆさうるん
こゝ此出て行を志るたやとやい
こゝろふたのふる扇れむかく
立まよしと何もいこゝちたらし

こゝ花ゝをすもれたけそう
をとこもかいに通ふ千代哉て
車のなりしもさにたれ舟
志の月やのれとわきに入わん
西をうなれちんのあ
東路のそとわれて露まて
ほてらにこれさのふもし
くゝんちんや月をさゝく女見
つましゝあくなる東加稲
竹何 第五
忠和廿六十二の年よ おかやさゝる

[illegible]

出てけまこと[illegible]

こすゑふるもとをかけ

花ぞさちぬる[illegible]

しのちかすもくかつをの

ゆこもとをたをしけふし

ちけいと貝をゆしなるな

風景入世生風の風て

ふしうまをしをやをけ

三郎太郎宮ふ[illegible]

のうものうをてちるれす

人事をのくきてはきをん

風ひとをひだなりとい

月のをこいをしをひて

ちくきてもつ事ぞり

ををちの宮貝ちをん

まこのををちたのをき

夕され貝をてをつをを

さつりあををゆをこの星

ひんひけ貝をすを深横ゆて

すをつをこをゆをのをて

何ををををは何のををん

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

のとふこうけのとろ一き
あきふくてもるう時すて
きれあふやくうにつけもし
花風さはうあれ老の中に
月かしもをかなとにきろ
あろきれ枯きをしかるあしる
乗ふのならとくあきあいろ
ゆうらすはきうをとき子あて
たうはうくすきふ
紙ふふ口ふあるし
きそつこくらふすん

たうてもものこと一生なりて
天の大一ことあんん
いつまくの物のきふまつ
人のこころをかこてこうを
智ひ人思あの花をまて
枯廣ふけ、ろつこ子ろ
きこひの月やてるさし紅
とろくれるはあるし
ける枯ふき啓一ちこ子も
ともあるもしきたろふろう
ふしろやふひ人とて白紙堂

[illegible]

わっこひとせ十三さいになりたん

うふんしゅうひなたうし

あしたうにおもいらるること

神代もきかぬ世のかぎり

たちやとく、ことの宜て

こゝのあきまで目のうちにて

こゝにあるとしの秋の重陽

[illegible]

多くの花にかをつまさ

山のあなたのたかさ

唐何才六

四さいきゝ[illegible]

[illegible]

枕さしのうの御[illegible]

ゆきてこうしゃ[illegible]

言ハゝ何と[illegible]

[illegible]

[illegible]

花[illegible]

山ぢのさけ[illegible]

[illegible]

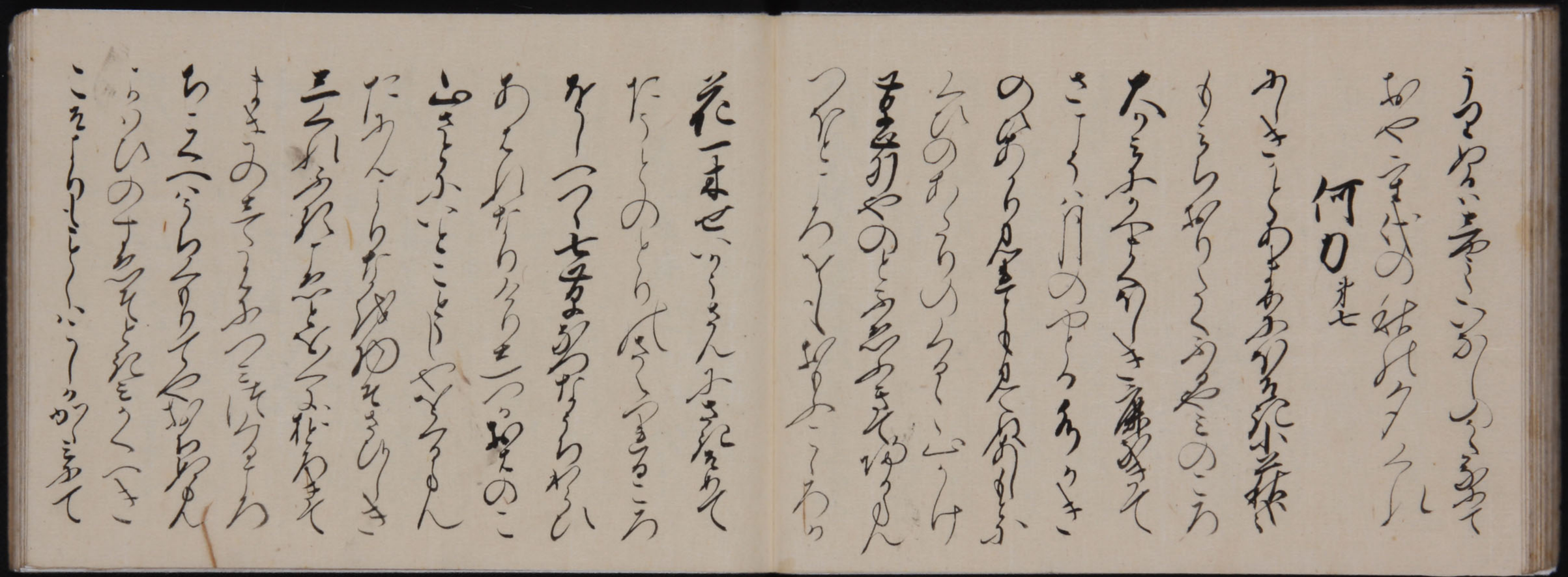
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

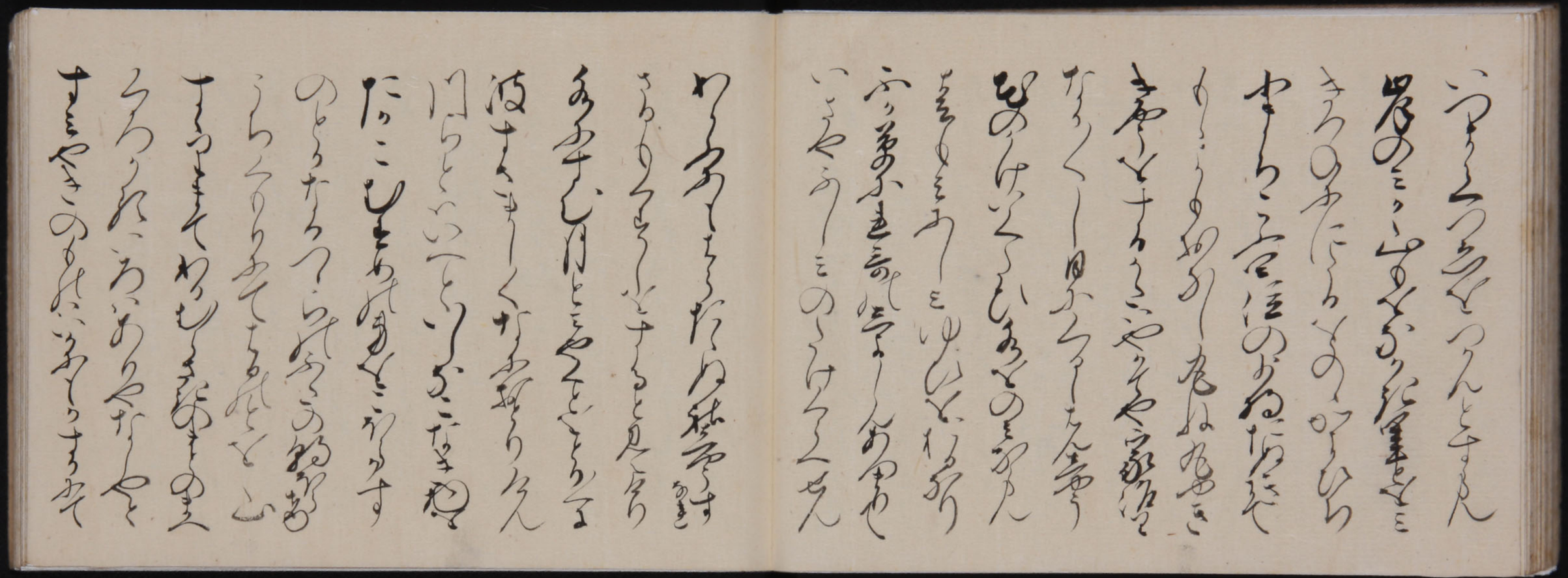
名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

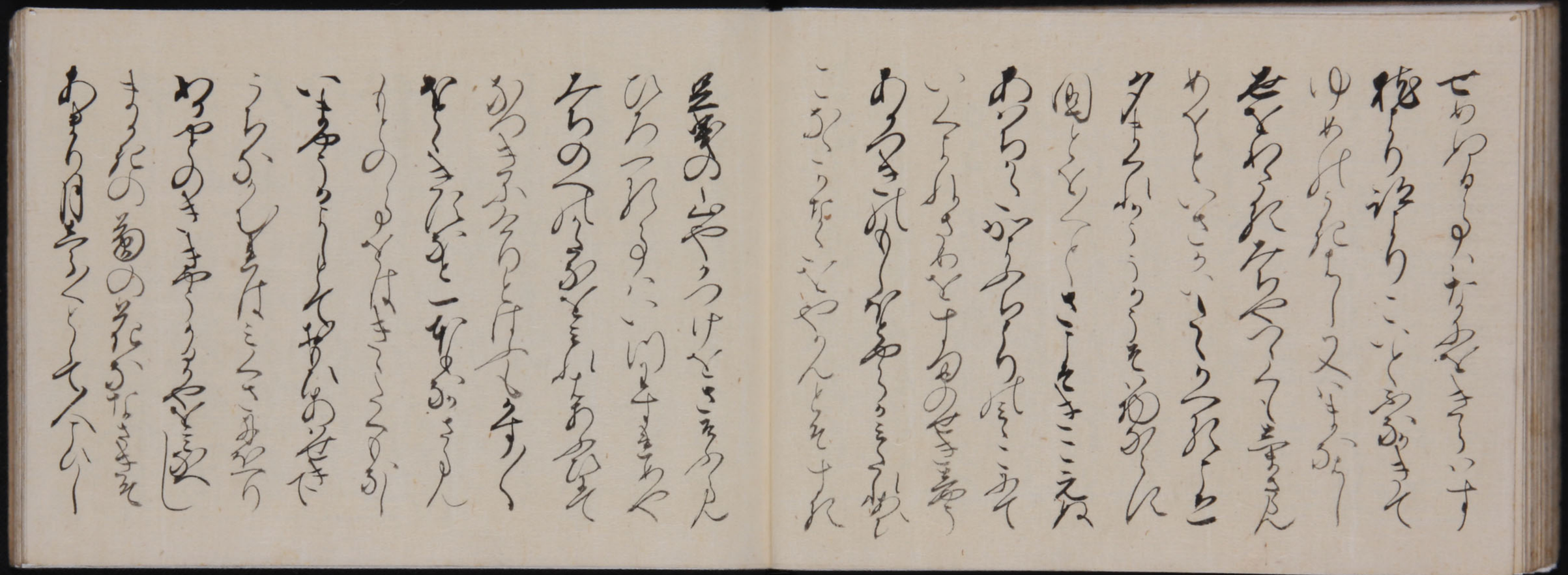


名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

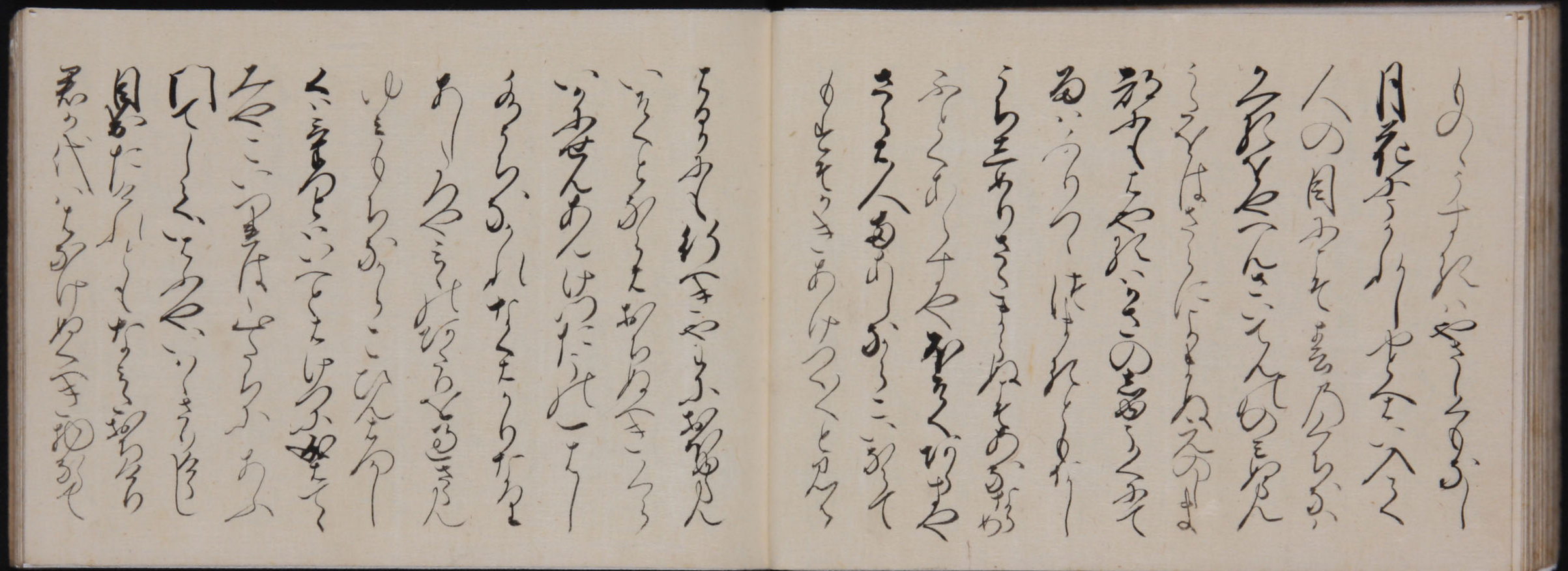
ゐのゝくさしとやまうらかれ
花ならはさこそのこゝろたはれめ
まろかつ千はあまたまよはし
大かたをきゝてうつゝなのかや
おふもしかくもさか月のかけ
出雲なるはれ宮もとやさかん
いつよりく田やうかへのせん寺
うらしにわたるそのことく
鳥羽作りなるゝ寶殿院
わすれくすりもしりけるふ
あちきなくちゝいさうなかこふ

月やみえなかりし月とはなかり
こゝろえて君もちもやかかなん
あくちゝうちれもあかつの大刀

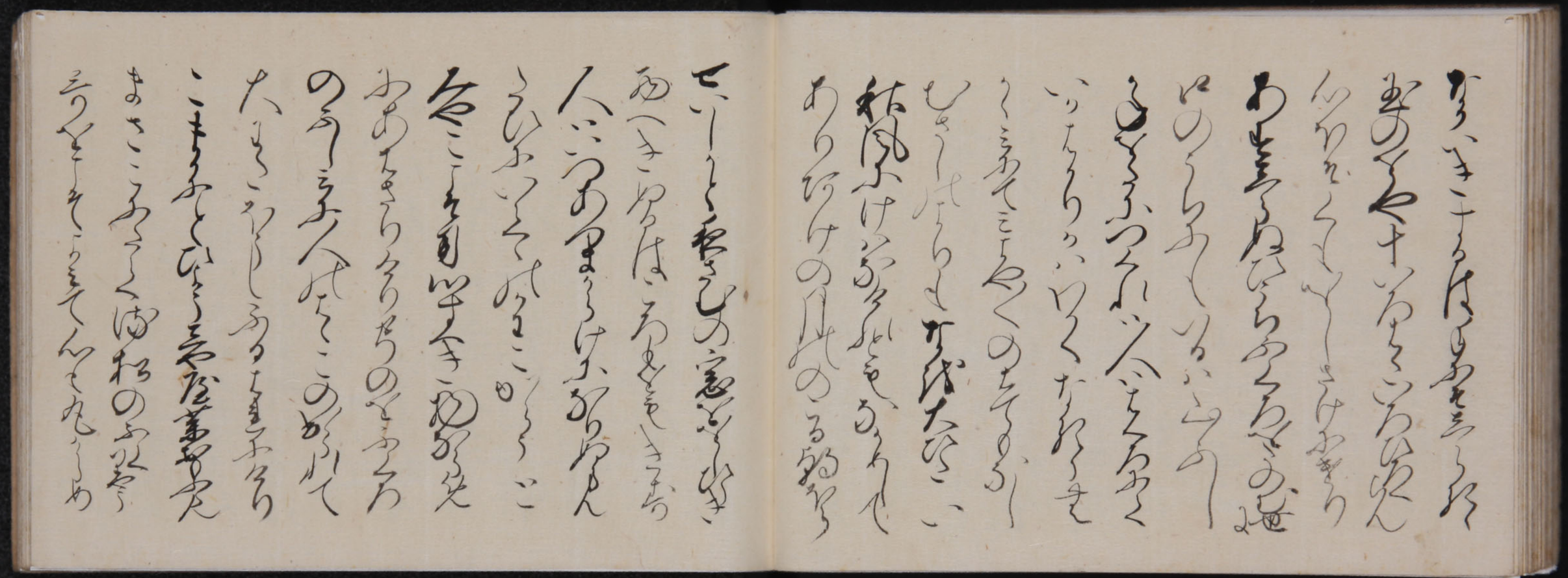
若何 第八

ふありてやかもしくこゝは秋月
わかミみんちらちらやれたゝ
くつわ虫ゆるもの緒くかなん
たとへひらく花のけまうりて
竹のよかせ縄花たひよみふし
このくららおよものやきこし
神無月きこえくのさくらけなん

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

草はみたれもゆるもえから
宇治川をわたりてする宮あらそひ
いろこそ秘そかきせんなるらん
おもわくはらん志賀崎のさく花
春の月くもりしときゝしやたのも
霧ふかやさこそはまさるらんしかや
何とてよをけふ蒸しやむなるけ
なんや此殊ありきぬりはな
さてらいふ文をとゝけるならひ
すゐりね二条殿にこもれて
かさねかねてとうにさてある

狗羊は何をつなしおもれに
名のうらふはなくとやふらん
いとくふかきのおくは人たまる
わかさたのきゝみ不さえまし
あさこそおれ心楽花ねのみ名
今日しとふもをいそく
このたとひらまし米とて
柳はみとり花はくれなゐ
本地をふはつもいつもしほらす
さる程のくとをそれろ
いつくてもくらと入きこ春の風

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

京何才九

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

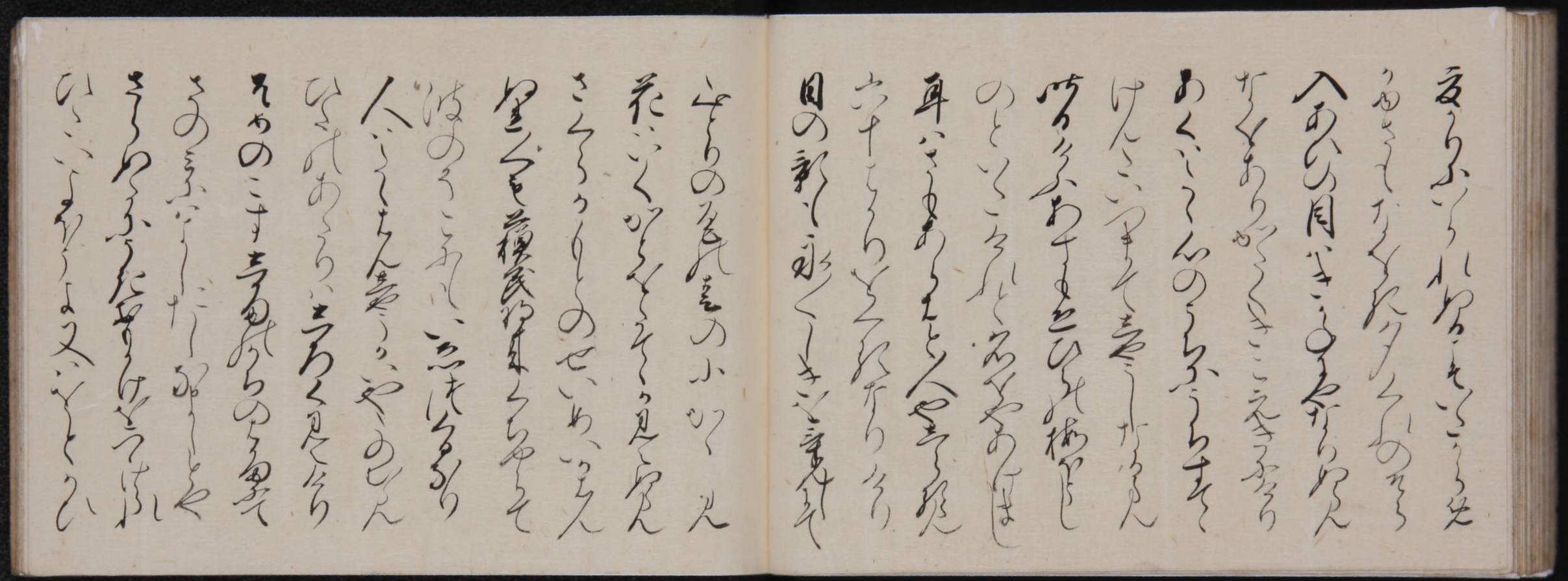
[illegible]

[illegible]

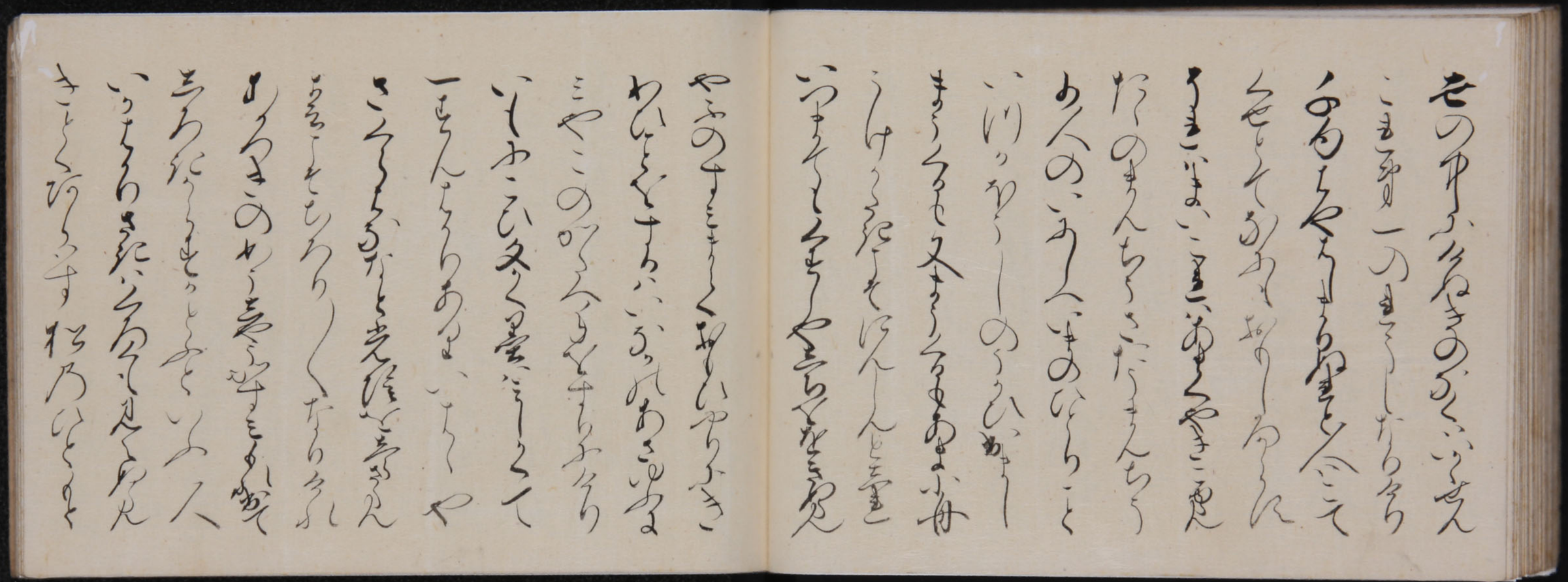
[illegible]

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

なにはすこしおもひの世に
七日の中はけふそめにけり
しの子れおしやたなはたに飛覧
月かさけくて寺ゐて参やや
本のかりとはきこそあれ
さらさらになはしからなり
いそひて君がかへはよりなん
くものはなそとかゝる秋
あやの目もうへ細まてはあらて
くさしとは言とそ知らし
なけ牛すたむ花は花遠つ

柳たゝれ寺なおあらたまる
まつゝゝ波とひまゝこ雁也
夜はつまりてゆくそら
ならきりなくはたんやこほん
秋はまこころさきこそ嵐たき
たるくかいさつくも霊て光のたし
かららなくやれにそやすかし

薄何　第十

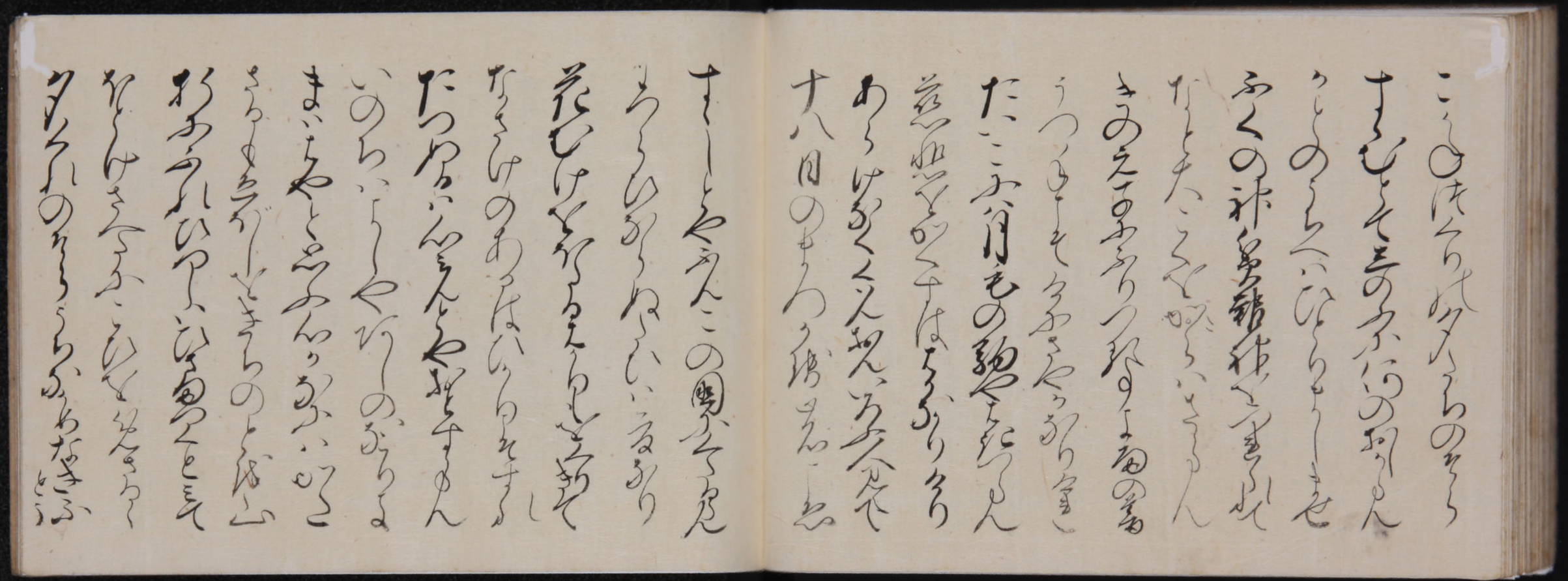
かる薄たて出は花の露
こかねもいくへあつかされる
あつしれすさえ月や残るらん

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

扇かとちらつのあかつきさ
秋霞すみ秋のまくら風ふかし
露のみこそまとしのぶさよ
村雨もいまそおりくまけてきて
はつかりおちる山の下かさと
旅人ハ小ニハきミやまよふらん
うちとまるつくひそすまし
うらみまつあさにわりとつけられ
大かたはゝものちりかゝるらん
矢ハ里まわしけるめとさハゐさ
いくひとまくのこゑゆきこえ

わりなかりしそのかへりまなん
松のあらしよるあらしさよ
山里ニ人はいかにしる春ふかて
云ぞこゝろしさへうきさみ
年とてたちの文やまよふらん
志やうくんとそこそこて月見かな
露まち花たかいた雨てきこえけれ
家とふかれ昼のさびけさ
こまいくわりて花はたちひゞき
あやきとはかけしたしくし
夏の日けふけふりしかなかほし

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765



名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

わすれひとつのかたみとは
月やあらぬ春やむかしの袖の涙
はくさかりのたもとまさこそ
花のあるじもしらしかんん
すまふしらかの雲はれけり
ひとりぬるこゝろぶたこゝろいそ
まどしなりもつゝ
けさもはやとゝ
見るかやきこのうらもいつ

追加

雑

ひとくの雲よひかさ
ゆふ時のまもとまりて
きのふのふるはけしもし
なるねもそ雲のよ
月のあるいとゝ
花さくはつまれひ
はひきりふくけ
さこそはわすれぬ
しるくあるいとゝ
ひやしこふかもとんけやまもん
きりのたちのくなれる色よ

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

火とはし見えぬ軒のまつ風
人あるかなきを露のいのちにて
夢かとやとふ宿の下道
生所のたれともしらんのちの世
念仏いつのしをおもひせよ
すゝきかつらいかゞ成らん
都鳥ひとりともなくなきて
しのゝめまではうらしきかな
ここぬくしあすとふはなけれ
かくとあはれなくや秋のうき
家の軒あつけからぬ物

いかなれば人と成れ文たこ
さいくといつもしらぬ世の
海ゆくさかなも見えんた道の
青かいの水よききすにて
まうちん見やさん庭の蔭
わきさんやさしさかくておちむし
かりあけのこよし大やく
廿日かたらかなの的を射て
この月十五日の十五ばかりさす
松ちも秋かしともあらん
よ川さなれ三十日の明神

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

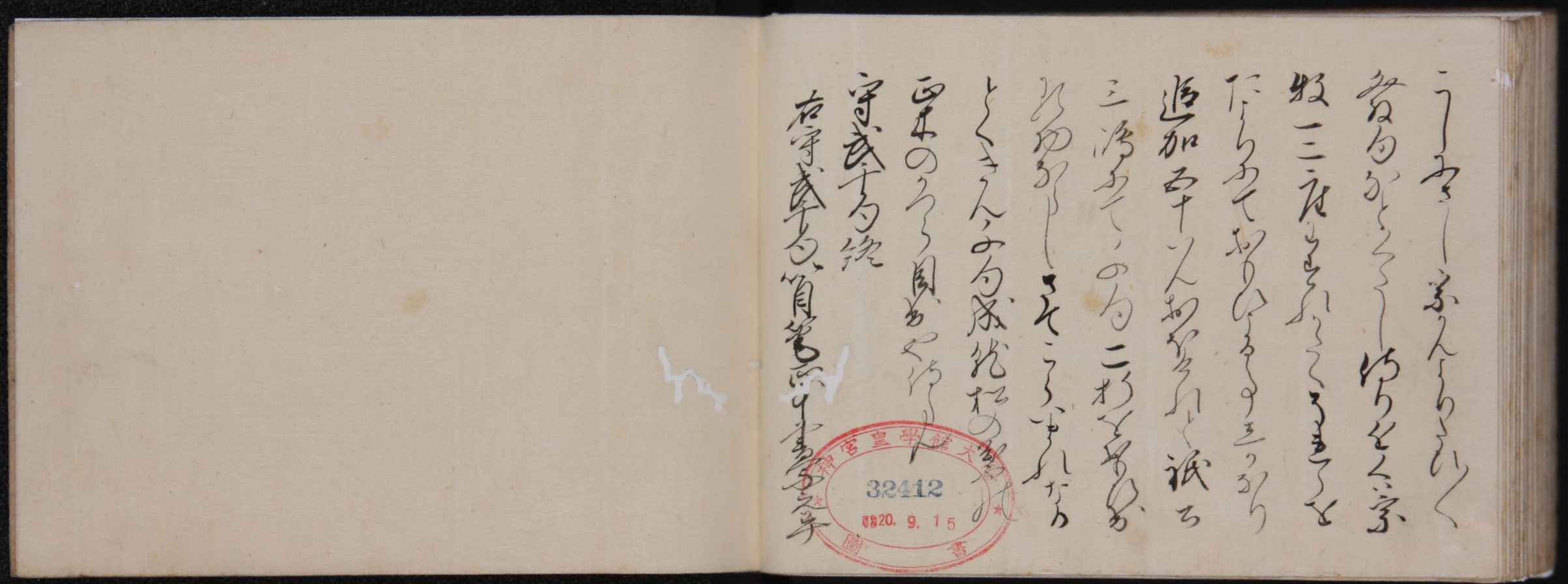
たよりなかりし誹諧をせ
たきくにおもひとりやそめし
そのかみしか家にこそわきまへ侍
きつきたえぬれはまよへる野
ひとりもみえていふ事おほえて
かの千句をおもひよりて記
宗鑑やなとは書つかはん
ちらしとも見えかたかりしかは
あまのかるもにすむ虫のわれから
月しつかなるにまかせん
山風のはけしくきこえはてそ

ちとせのくすりにもとかたこう
なにとやらんかしましくおほえ
めしきこえまいらする人のこゝろゑ
またたちてとりてこそ御覧わけて
天文九年　きさらきなかころ

右のたいはいまの独吟千
句立あらぬさまにまかれし
又いつかくれなきしはらくいお
ちらしくはせんのあまるま
閑をとるへきか一句となし

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765



神宮皇學館大學圖書
32412
昭和20. 9. 15

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765

名古屋大学附属図書館所蔵　神宮皇学館文庫
「守武千句」
10060765